

# 在京 下郷会だより



町の鳥(鶯) 花(ふじ) 木(白樺)

## 第41号

編集 在京下郷会だより  
編集委員会  
発行 在京下郷会  
事務局 下郷町役場  
産業課  
商工観光係  
電話:0241-69-1144

東京連絡所 (株)若松通商  
電話:03-5754-3040

平成三十年

### 新年のご挨拶



在京下郷会  
会長 室井軍三

新年、明けましておめでとうございます。在京下郷会、下郷町の皆様におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、在京下郷会に対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年の十月の総会におきまして、皆様方の賛同をいただき会長に就任させていただきました。

今後の会の運営にあたり、大きな課題がございます。一つは会員の減少の件です。平成十年頃は三九〇人おりました会員も今日では二四一名と一四九名も減少しております。少子高齢化の時代、いかにして会員を増やしていくか、いかに若い方に入会していただけるかを考えておりますがなかなか良い案が出てきておりません。

町の皆様方にご協力をいただければ会員を増やす事が出来るのではないかと考えております。それは、各家々から関東地方へ就職された方に入会していただくよう連絡していただければ入会の方も増え会員が増加するのではないかと考えております。是非ご協力お願い致します。

会員の減少は会の台所も逼迫させ、現在は役員方々から寄付を募りその上、在京下郷だよりには名刺広告をいただき収支を図っております。町、会員の皆様、一人でも多くの方々が会員になっていただけますよう重ねてお願い申し上げます。

今年は成年です。戊は道に迷わず忠誠心が強いと言われております。在京下郷会も目標を決め、下郷町、会のためになるよう役員一同誠心誠意智恵を絞って頑張っております。今後も、ご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、下郷町、在京下郷会の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

### 年頭のご挨拶

下郷町長  
星 學



新年あけましておめでとうございます。在京下郷会の皆さまにおかれましては健康やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年十月に開催されました定期総会におかれまして、中野善次様が会長を退任されました。平成十八年より会長職を十一年の長きにわたり務められ、在京下郷会を支えてきたその功績に心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。また、新会長となりました室井軍三さんには、今後もより一層、在京下郷会と下郷町が強い絆で結ばれ、ふるさと下郷町の発展向上のために、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。さて、昨年は下郷町長選挙も行われ、町

民の皆さまからのご信任をいただき、二期目の町政を担わせていただくことになりました。寄せられました信頼と期待の大きさを感じておりますとともに、その使命と責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。皆さまの声をしっかりと受け止め、町政運営に全力で努めてまいります。

さらには、「第五次下郷町振興計画」を策定し、四年目を迎えようとしています。町の目指す姿として掲げた「美しく笑顔あふれる交流のまち下郷」へ、地域の特性や発展の方向性を踏まえ各種施策に取り組んでまいります。高齢者福祉や子育て、農林業の振興や雇用にもより一層力を入れ、町民の皆さまが住みやすいと感じてもらえるような町づくりを目指してまいります。

結びに、全国に誇れる魅力ある下郷町を築きあげるため、今後も在京下郷会の皆さまの培ってきた経験と知恵を生かしたお力添えを賜りますようお願い申し上げます。在京下郷会の発展と会員の皆さまのご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

下郷町議会議長

佐藤 勤



下郷町議会を代表して、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

在京下郷会の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、ふるさと発展のため、温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、お招きいただきました定期総会の役員改選では、中野善次会長さんが退任され、室井軍三さんが新会長に就任されました。中野さんのこれまでのご尽力に対し深く敬意を表しますとともに、室井新会長さんには引き続き郷土の発展のためにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに、町の近況でございますが、昨春には、会津から都心までを結ぶ東武鉄道特急リバイ会津が、浅草駅、会津田島駅間で直通運行を開始し、本町においても、その効果が期待されているところでもあります。

さらに、会津の心と自然を結ぶ「会津下郷駅（榎原駅）」には、憩いの場として、喫茶室「駅カフェ」も「ごう」がオープンしております。

また、皆様方に桜の苗木を植樹いただきました大川ふるさと公園は、昨年夏にパークゴルフ場全十八ホールが完成し、

健康増進など、その多様な可能性が注目されているところであります。ご帰郷の際には、ぜひ、お立ち寄りいただきたいと思っております。

さて、私たちのまちづくりを取り巻く環境は大きく変化し、少子高齢化・人口減少社会への早急な対応が求められるなど、その道は決して平坦なものではありません。

本町は、その地勢から中山間地域特有の課題を抱えておりますが、視点を変えればそこは「地域資源」の宝庫であり、それを磨き上げ、道路交通網の整備と併せて相乗効果を生み出すには、同郷の絆で結び合います皆様と情報交換を密にし、まちづくりに取り組むことが肝要であると存じます。

町議会といたしましても、なお一層の努力を傾注してまいり所存であります。結びに、在京下郷会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



完成した 18 ホールパークゴルフ場

年頭にあたり

日本維新の会

参議院幹事長

元国土交通大臣政務官

参議院議員

室井 邦彦



旧年中は、大変お世話になり誠に有難うございました。皆様にとりまして、本年も良い年でありませうようご祈念申し上げます。

在京下郷会におきましては、昨年十月の定期総会で、室井前幹事長が新会長に選任されました。後進に道を譲られた中野前会長のご英断に深く敬意を表するとともに、室井体制の下、新たなスタートを切ることができたことに対し心よりお慶び申し上げます。在京下郷会の皆様には、いつまでも変わらない郷土愛で下郷町を応援していただき、改めて感謝申し上げます。

人口減少と東京一極集中が加速し、地方の衰退が懸念されています。地方の魅力を発信し、観光振興でヒト・モノの流動を拡大させていく、地方再生に向けた取組が極めて重要となっております。私が座右の銘としている諺に「温故知新」という言葉がありますが、その諺にならい、わが町の歴史や文化を先人から学び、ふるさとの素晴らしさを再発見していくことがカギになると思っております。

在京下郷会の皆様と一緒に、ふるさとを継承していく原動力となることをお誓いし、年頭にあたる祝辞といたします。

自然の素材の家

株式会社 志木

代表取締役社長 星 正邦 (成岡)

E-mail : sanyo-h@proof.ocn.ne.jp

お気軽に検索

詳しくはホームページへ

自然の素材の家 志木 を 検索

〒969-6214 福島県大沼郡会津三里町 富川字向川原中ノ切乙1446-1  
TEL : 0242-54-3321 FAX:0242-54-3323



電子部品の専門店

Wakamatsu ELECTRONICS

http://wakamatsu.co.jp/waka/  
E-mail waka@wakamatsu-net.com



株式会社 若松通商

代表取締役 室井 軍三 (小池)

## 第二十七回 在京下郷の集い

顧問 (刈林) 中野 善次

第二十七回「在京下郷の集い」は、昨年十月二十八日東京都荒川区日暮里の「ホテルラングウッド」にて、在京会会員、下郷町より星學町長外関係者多数が参加され盛大に開催することができました。

### 一. ふるさと懇談会

幹事長 (沼尾) 芳賀 公

午前九時三十分「孔雀」の間において、星學町長、佐藤町議会議長及び議員・町関係者十七名、在京会から中野会長以下二十一名、総勢三十八名で行われました。懇談会の冒頭、町から「下郷町着地型ツーリズム推進事業」の説明があり、その後在京会からの三つの議題、「下郷町の人口推計」「ふるさと納税」「塔のへつり危険対策」について、忌憚のない活発な意見が交換されました。

### ◎星 學町長の挨拶

在京下郷会・下郷町議員及び町関係者からいただいたご意見は可能な限り町の行政に反映しております。今後も「在京下郷会」が続く限り、ふるさと懇談会を実施して、町繁栄のための助言をいただき、立派な町づくりを邁進していきたい。

### ◎中野会長の挨拶

町長、議長、町議員、町関係者の出席に対する謝意と、星學町長の再選について、在京会一同からのお祝いを伝え、更なるご活躍を祈念した。活発なるご意見を懇請し、懇談会が開始された。

### ◎下郷町発展のための事業事例報告

着地型ツーリズム渡部恵子氏が、「目指せ！地域の稼ぐ力を生み出す観光」というテーマで、「着地型ツーリズム推進事業」について、パワーポイントで説明をした。旅行会社と首都圏ウォーキング協会との共同企画

- ・地域内関係団体との共同企画
- ・仕組みづくり
- ・四つのデザイン部会の調査・研究

### ◎下郷町の人口推移について

在京下郷会副幹事長櫻木博が「下郷町の人口推移」について説明をした。主な内容は次のとおり。

- ・町の過去二〇年間の出生数は八二〇人、年平均四一人。
- ・五年間の年平均出生数は二九人。
- ・高齢者(七〇〜九〇歳)は一八五七人、二〇年後はこの人数も減少する。
- ・二〇歳から二五歳までの人口が減少している。原因は高校等卒業後、他県等に就職し地元に戻っていない。

### 【町議員との懇談内容】

#### ◆櫻木博副幹事長

問題点として二十年後の二十歳から二十五歳までと、五十歳までの壮年人口が大幅に減少すること。対策としては高校等卒業後又他県等での就職者が戻り働くことができる環境整備をする。

一例、埼玉県寄居町のように本田技研を誘致したことで、その関連企業が移転して来て人口が増加し、飲食店、娯楽施設等が増加した。

二例、子育てしやすい環境、練馬区は第三子には二十万円、幼稚園・保育園に入園する場合は六万円の助成金。

#### ◆星輝夫議員

ある市の住人が下郷町に住みたいと空き家を見に来た。トイレが水洗でないという理由から断られた。ここに手を加え改装して売り出せば人口の増加につながるのではないかと。

#### ◆室井亜夫議員

出生時のお祝金、保育所に第二子が入所した場合は保育料を無料にするなど大小差はあるが町でも対応している。企業誘致は、企業は町の人口の動向を見て誘致しており、人口の少ない町は難しい。

現在、何をやったらよいか、町では手探り状態である。在京下郷会の優秀な知恵を下郷町に還元してほしい。

#### ◆高橋千代丸副幹事長

在京下郷会では町の人口減少に歯止めをかける方法はないか、更には町の活性化を図るために何をすればよいかを、今まで「ゼロベース」で議論してきた。しかし、本日、商工会の「着地型ツーリズム推進事業」の説明を聞いて、町で計画・実施している企画の素晴らしさに感銘を受けた。

今後は、ふるさと懇談会の題材として、この「着地型事業」の企画書に示されている個々の素晴らしい事業の中から

ら、具体的な課題を選定し、それらをベースにして、人口減少、活力低下対策を検討してはどうか。それによって、在京会と町との課題解決に対する姿勢の一体性が確保され、その具体的な検討活動を通じて在京会と町の相互信頼が高まって行くものと考えます。

#### ◆櫻木博副幹事長

町と県外の未婚者を対象にした合コンを開催してはどうか。これを開催したことで人口増加につながったという市町村もあると聞いています。

#### ◆芳賀公幹事

町の人口推移から云えることは、年間出生人数が四十一人なのに、三つの小学校が必要なのか。この三つの小学校を統合し、さらにはそこに中学校も統合させ、小・中学の一貫校としてはどうか。通学はスクールバスとし、指定管理者団体を通じて民間に経営させる。そこに雇用が生まれると思う。また空いた二つの学校は、働く人の保育所や今後増加する高齢者の施設として利用することで、若者が地元に残れる雇用が創出できると思う。さらには高齢者の医療費削減への取組みと健康増進の場としても活用できると考えます。

#### ◆猪股謙喜議員

医療費削減の事例は茨城県の大洋村だと思ふ。しかし、自分は、高齢者の健康が町の人口増加には直接つながらないと考えている。子供が少なくなってきたから統合ではなく、ある島では、島の分校を留学生用に使って維持しているところもある。そのためには留学生を

集める等の工夫が必要である。それらを実施した上で統廃合を考えてはどうか。町の人口進行計画を作成する際、町の将来人口が三千人台になることを知った。交流人口対策で維持するしかないとも聞かされている。

◆星學町長

人口増加対策として地域協力員の募集を行っている。二名の採用枠があり現在一名が確定している。あと一名を皆さんにお願いしたい。健康増進対策として風呂の無料券の配布は可能だと思ふ。現在の湯野上の「老人福祉センター」が老朽化したため改修を予定している。名称を「健康センター」として利用できるようにすることは可能だと思ふ。

◎ふるさと納税について

◆小山博義幹事

昨年の懇談会の後、町の広報誌に「ふるさと納税(以下「ふる税」という。)」がPRされていたので、初めて「ふる税」を実施した。返礼品も高菜と米、非常においしかった。少子化問題等財源が必要となるため今後も積極的にPRして欲しい。

PRの仕方について考えている。一つは、広報誌を利用した町出身者への案内。二つ目は、町の観光地での宣伝である。お土産店等に従事する人による観光客への「ふる税」の依頼です。

◆室井初男幹事

町では「ふる税」を活発化するためにネットサイト「さとふる」と契約された。

町が積極的に取組んでいることにうれしく思った。このサイトを利用して人達は、還元率の高い返礼品を求めて利用している人がほとんどだと思います。町の返礼品は現在三種類ですが、還元率が五十、六十パーセント位の返礼品を用意しないと素通りされてしまうのではないかと。福島県の返礼品の還元率は三十、四十パーセントだと思ふ。ぜひ目玉商品を作っていたらき今後とも力を入れて取り組んで欲しい。

◆室井軍三幹事長

宮崎県の「ふる税」の収益金は五十億円程度あり、そのうち十一億五千万円を子供に使っている。町も負けずに八割、九割という感じで実施していただき、多くの支援をもらって、それを子供たちに使ってほしい。

◎「塔のへつり」の危険対策について

◆長沼種臣副会長

「塔のへつり」の橋を渡り、水門(みつかど)方面に寄ったところが危険で行きたいと思うが行けないという人が大勢いると聞いています。県立公園のため鎖等を付けてもいけない、取ってもいけないという法律があることは知っている。しかし、粘り強く、県、国に働きかけて、綺麗で安全に歩けるようにしていただきたい。

◆星學町長

土砂を取り除くのが難しい。また土砂を排出した場合どのような原型になるか、それを県に説明する必要がある。最後に中野議長が懇談会の謝意を

述べ閉会となりました。

ふるさと懇談会：下郷町の人口構成の変化やふるさと納税について活発な意見が交換されました



二. 第二十七回定期総会  
顧問(刈林) 中野 善次

午前十一時四十五分より二階「丹頂」の間にて定期総会が開催され、佐藤事務局長(産業課長)の司会により、長沼副会長の開会のことば、次に、主催者側を代表し中野会長が挨拶を行った。

- (1) 第二十七回定期総会を開催に伴い会員の皆様、下郷町長、町議会議長、議員の皆様及び町関係者のご出席に感謝の意を述べた。
- (2) 国内企業の景気が改善されており、中小企業では人手不足が深まっており、先行き人件費の上昇圧力が高まる恐れがあり注意が必要である。
- (3) 町の第五次振興計画は着々と進んで

度中に完成予定。

- (5) 会津縦貫南道路は小沼崎バイパス、田代・白岩のトンネルを抜け会津田島に至る道路。
- (6) 本年四月二十一日東武鉄道の特急「リバティ」が浅草から会津田島まで乗り入れ、デビューをした。
- (7) 平成二十九年事業計画をベースに事業を実施し、少しでも町に寄与できるように役員一同努力する所存です。

一 祝辞

次の方からお祝辞をいただきました。

- ・ 下郷町長 星 學 様
- ・ 町議会議長 佐藤 勤 様

二 来賓紹介

室井町議会議務局長が来賓を紹介した。

- ・ 下郷町長 星 學 様
- ・ 町議会議長 佐藤 勤 様
- ・ 町議会議員一同 様
- ・ 町関係者 様

三、審議内容

中野会長が議長になり次の議事を審議し承認可決しました。

- (1) 平成二十八年度事業報告
- (2) 平成二十八年度収支決算
- (3) 平成二十八年度基金会計収支決算
- (4) 在京下郷会会則及び運営内規の改正
- (5) 平成二十九年度事業計画
- (6) 平成二十九年度収支予算

(7) 役員改選

三、交流パーティー

顧問(刈林) 中野 善次

午後一時十五分より二階鳳凰にて「交流パーティー」が開催された。司会は在京下郷会の新幹事長に就任した芳賀公です。パーティーに先立ち郷土芸能「下郷大黒舞」を昨年に引き続き佐藤勇平様(大松川)にご披露していただきました。

(1) 閉会のことば

・ 高橋千代丸新副会長が力強く宣言しました。

(2) 挨拶

・ 室井軍三在新会長の挨拶

・ 星學町長のご挨拶をいただきました。

(3) 来賓の祝辞

・ 菅家一郎衆議院議員のご挨拶をいただきました。

(4) 来賓の紹介

・ 司会より来賓の方々の紹介がありました。

(5) 感謝状の贈呈

・ 室井軍三新会長から、中野善次前会長、星定雄前副会長、長沼種臣前副会長に対し、在京下郷会の発展に貢献した功績に感謝と記念品を贈呈しました。

(6) 初参加者の紹介

・ 司会より、同級会を兼ねた初参加者の紹介がありました。(十五名)

(7) 乾杯

・ 中野顧問の乾杯の発声でパーティーを開始しました。

(8) 祝歌

・ 会員である渡部重春様(小池)の美声による「長もち唄」を披露していただきました。

一、アトラクション

今回のアトラクションは町からの提供です。菅野恵(すげのめぐみ)さん(シンガーソングライター・福島市出身)。柔らかく芯のある歌声で首都圏でも活躍されています。

二、おたのしみ大抽選会

今回の賞品は、下郷町から「特産品セツト」、在京下郷会役員から「電化製品多数」の寄贈がありました。また新たに下郷町長賞・下郷町議会議長賞を設けました。さらに、(株)若松通商代表取締役社長室井軍三様から「電化製品」の寄贈がありました。毎年素晴らしい商品を寄贈いただき心から感謝申し上げます。特別賞は星町長・中野顧問・室井会長から贈呈されました。

三、合唱

今回の曲目は一つに絞り「ああ上野駅」を参加者全員で合唱しました。

四、盆踊り

「下郷甚句」を二周り踊りました。もともと多くの人が踊るようにしたいものです。

(9) 三本締め

・ 室井初男新副会長の発声で下郷町、在京下郷会及び皆様のご健康とご多幸を祈り唱和しました。

(10) 閉会のことば

・ 芳賀勝義新副会長から閉会の挨拶があり、交流パーティーは無事終了することができました。

◎写真撮影

星學町長と室井会長を囲み地区別に写真を撮りました。

◎お礼

今回の在京下郷の集いは、ご参加された皆様のご協力により大盛会に終わることができました。

星學町長はじめ町関係者のご尽力に役員一同心からお礼申し上げます

四、参加者の声

第二十七回在京下郷の集いに参加していただいた会員の皆様から、参加したご意見とご感想をいただきました。

在京下郷の集いに参加して

町民(檜原) 湯田 恒弥

檜原中学校の同級生には参加するよう  
に常々声をかけているので誰に会えるか  
毎年楽しみにしながら参加させていた  
だいでいます。しかし、今年は同級生には  
会えませんでした。でも同じテーブルの  
人と話をしてみると同級生の叔父さん。  
顔つきが同級生を彷彿させ、何か会った  
ような気がしました。

また、新会長の室井軍三さんと話をし  
ていると、同級生が彼の経営する秋葉原  
の「若松通商」で働いていることが分か  
り、様子を伺い知ることができました。

さらに、隣席の人と話してみると中学時  
代の恩師の息子さん。顔をよく見てみる  
と若い時の恩師に似ているところがあ  
り、恩師と再会したような気になってしま  
いました。

下郷から参加してまさか東京でこんな  
に下郷の昔と出会えるとは思っていま  
せんでした。同級生には会えなかつた  
けど新たな出会いがあり、とても良い  
思い出になりました。



渡部勇平様の大黒舞で開幕しました

第 27 回 在京下郷の集い・交流パーティー

開会挨拶、来賓祝辞、懇談、祝い唄、アトラクション(菅野恵さん)、抽選会、合唱、盆踊り、3本メの順序で行われました



室井会長、中野顧問、星町長



来賓、商工会長、佐藤議長



議員、来賓、役員



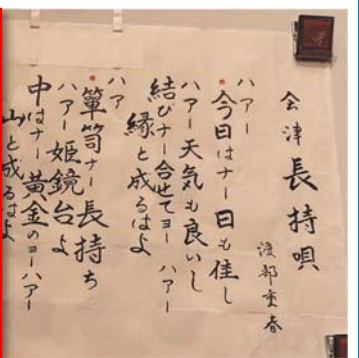
役員、来賓



役員、来賓、議員、副町長



渡部重春様の祝い唄：長もち唄



会津長持唄  
今日ハナイ日ハ佳し  
ハア一天気ハ良し  
結ハナイ合せてヨハア一  
縁と成らばヨハア一  
ハア一  
筆筒ハ長持ち  
ハア一姫鏡台  
中ハナイ黄金ハハア一  
山と成るヨハア一



アトラクション：菅野恵子様



会員、役員



旭 田



弥五島・榎原



榎原、役員



旭 田



榎原、役員



榎原、役員



旭田、役員



弥五島、役員



江川、役員



江 川



議員、町関係者



町関係者



町 民



町 関 係 者



町長、会長と昭和 43 年度卒槽中同級生



昭和 43 年度卒槽中同級生



昭和 43 年度卒槽中同級生



昭和 43 年度卒槽中同級生



昭和 43 年度卒槽中同級生



仲島幹事のタクトによる合唱



室井新会長からの中野会長、長沼副会長、星（定）副会長への感謝状贈呈



大抽選会：町長賞／若松通商賞を当てた喜びの当選者



下郷町観光 PR をする渡部商工会長





旭田地区集合写真



江川地区集合写真

## 第27回在京下郷会交流パーティー



楢原地区集合写真

4000坪もの自然林に囲まれた一軒宿



969-5201 福島県南会津郡下郷町高崎字寄神乙1614

TEL0241-68-2266/FAX0241-68-2269



天然温泉

会津湯野上温泉

つるや旅館

“また来たい” そうおっしゃっていただける宿

969-5206 福島県南会津郡下郷町湯野上字居平乙752

☎0241-68-2146・fax0241-68-2647

### 株式会社 Creative Egg



イベント企画・制作  
テレビ番組・ラジオ番組  
DVD 制作

代 表 桜木知代

渋谷 Office 〒150-0042 東京都渋谷区  
宇田川町2-1 渋谷ホームズ 1111

☎3-6452-5711 ☎090-1808-5060

那覇 Office 〒900-0036 沖縄県那覇市  
西1-14-4 玉木マンション 1-B

✉komatsu@creative-egg.co.jp

### グルメ・ドリンク・カラオケ ニューキプロス



千代田区外神田6-6-9 TEL 03-3831-5030

稲田 光彦 (会津坂下町出身) 在京下郷会推薦・特割有

### ！ネジを求めて40年！ (有)東葛螺子製作所



代表取締役 芳賀勝義

〒131-0043 東京都墨田区押上3丁目60番4号

電話 (03) 3618-0550 (代表)

FAX (03) 3613-3578

- 宿泊
- 宴会
- 婚礼
- レストラン



JR・京成線日暮里駅南口徒歩1分

HOTEL LUNGWOOD  
ホテルラングウッド

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5  
TEL 03 (3803) 1234(代) <http://www.hotellungwood.com>



在京下郷会  
幹事長 芳賀公  
(沼尾)

わかさど湖  
湖底に眠る  
沼尾村



猿楽の  
白いじゅうたん  
蕎麦の花

在京下郷会  
会長 室井重三  
(小池)



在京下郷会  
副会長 室井初男  
(十文字)

## 五. 総会資料 (順不同)

報告第 1 号 平成 28 年度事業報告		
事業 (年月日)	事業内容	備考
在京下郷会 臨時役員会 (28.10.7)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：平成 28 年度在京下郷会の集いについて 他	中野会長 外 役員 16 名
在京下郷会 主要役員会 (28.10.7)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：第 26 回在京下郷会の集いについて	中野会長 外 役員 7 名
下郷町議会広報常任委員会との懇談会 (28.10.26)	場所：台東区 上野精養軒 内容：在京下郷会の現状と課題について	中野会長、星副会長 長沼副会長、室井幹事長
第 26 回 在京下郷の集い (28.10.29)	場所：荒川区 ホテルラングウッド 内容：ふるさと懇談会、定期総会、交流パーティー	来賓 25 名 会 員 70 名 一 般 6 名 町 民 14 名 町 職 員 8 名 アトラクション 11 名 その他 6 名 合 計 139 名
第 37 回 在京下郷会秋の親睦ハイキング (28.11.12)	場所：横浜市 三溪園 内容：三溪園紅葉散策	参 加 者 22 名
在京下郷会 臨時役員会 (28.12.14)	場所：台東区 上野精養軒 内容：[第 26 回在京下郷の集い]及び「平成 28 年秋の親睦ハイキング」を顧みて	中野会長 外 役員 17 名、
在京下郷会 会報編集会議 (29.1.19)	場所：千代田区 (榎若松通商 内容：在京下郷会だより編集作業	中野会長 高橋委員長、外 委員 7 名
故尾形慎記様 葬儀 (3 月 17 日永眠) (29.3.20~21)	場所：品川区 桐ヶ谷斎場 内容：通夜、告別式	中野会長 外 役員 9 名
第 38 回 在京下郷会春の親睦ハイキング 観桜会 (29.4.1)	場所：市川市 里見公園及びびじゅん菜園 内容：桜観会及び園内散策	参 加 者 20 名
在京下郷会 臨時役員会 (29.6.21)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：役員会及び新年会	中野会長 外 役員 16 名
ふるさと南会津会 (29.6.25)	場所：文京区 東京ガーデンパレス 内容：総会及び交流パーティー	中野会長 長沼副会長
下郷町魅力発信事業 アンテナショップ (29.7.5~9)	場所：台東区 谷中銀座商店街 内容：物産品販売、観光 PR	中野会長 外 役員 4 名
在京下郷会 納涼懇親会 (29.7.22)	場所：台東区 上野精養軒 内容：納涼懇親会	中野会長、役員 16 名、 会員 3 名、非会員 3 名
在京下郷会 主要役員会 (29.8.9)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：役員改選 (案) について	中野会長 外 役員 6 名、
下郷町長訪問 (29.8.17)	場所：下郷町役場 町長室 内容：下郷町の近況について	中野会長
在京下郷会 常任委員会 (29.8.23)	場所：台東区 ホテルニュー魚眠荘 内容：第 27 回在京下郷会の集いについて 他	中野会長 役 員 18 名
第 28 回 在京下郷の集い打合せ (29.9.19)	場所：荒川区 ホテルラングウッド 内容：会場確認 他	中野会長、室井幹事長 外役員 1 名、佐藤事務局長 外事務局員 1 名

### 議案第 4 号 役員改選

改選後の在京下郷会役員名簿 (任期) H29 年 11 月~H30 年 10 月

役職名	氏名	出身地	備考	役職名	氏名	出身地	備考
顧問	中野 善次	刈 林	役職変更	幹 事	仲島 昭義	姫 川	再 任
	星 定雄	小 野	〃		佐藤 順昭	弥五島	〃
	長沼 種臣	弥五島	〃		佐藤 文章	刈 林	〃
会長	室井 軍三	小 池	〃		佐藤 学	小松川	〃
副会長	芳賀 勝義	沼 尾	〃	会 計	星 善徳	刈 林	新 任
	高橋千代丸	刈 林	〃		(兼) 星洋武	新 開	再 任
	室井 初男	十文字	〃		前田 恵子	倉 水	〃
幹事長	芳賀 公	沼 尾	〃	羽染 作太	三ツ井	役職変更	
副幹事長	櫻木 博	落 合	再 任	監 査	大竹 虎雄	三ツ井	再 任
	大竹 力夫	落 合	〃		佐藤やすの	檜 原	〃
	星 洋武	新 開	役職変更		芳賀 清喜	沼 尾	新 任
	小山 博義	塩 生	〃	事務局長	佐藤 壽一	大松川	産業課長
幹 事	佐藤 俱子	湯野上	再 任	事務局	佐藤 隆行	中 妻	商工観光係
	佐藤 隆志	大 内	〃				

議案第 2 号 平成 29 年度事業計画

1. ふるさと下郷の主要な年間行事、各種イベント等に参加協力協賛するとともに、相互の情報交換を密にし、下郷町の発展に寄与する。
2. 会員の拡大と組織強化、会活動の再構築に資する活動を展開する。
3. 本会の活動状況やふるさと情報等に根ざし、会員の共通意識を醸成させるため会報「在京下郷会だより」を発行する。
4. ふるさと下郷町内において、在京下郷会加入を促す。
5. 他のふるさと会との懇親を深め、会目的達成の先進事例等研鑽に努める。
6. その他、会則第 3 条の目的を達成する事業を役員会、部会等で具体化し事業を実施する。

◎主催事業

1	会報の発行	会報「在京下郷会だより」の発行 時期：平成 30 年 1 月下旬～2 月上旬
2	町広報誌の送付	「広報しもごう」の毎月送付 町イベントや首都圏イベントの情報発信
3	第 28 回在京下郷の集い	日程：平成 30 年 10 月 27 日（土） 場所：東京都荒川区 ホテルラングウッド 内容：・ふるさと懇談会 ・定期総会 ・交流パーティー
4	観光 PR 及び物産品等販売協力	町、観光協会、会津赤べこ会、会津会、 東京福島県人会等
5	その他	親睦ハイキング（観桜会、紅葉観賞会）

議案第 1 号 在京下郷会会則及び運営内規の改正（改正部分のみを掲載）

簡条	改正前	改正後
在京下郷会会則の一部改正		
(役員) 第 6 条	(4) 会計 2 名 (5) 監査 2 名	(4) 会計 3 名 (5) 監査 3 名
(任期) 第 7 条	役員任期は 2 カ年とする。ただし、再任を妨げない。	役員任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。
在京下郷会運営内規の一部改正		
(終身会員) 第 1 条	満 60 歳以上の会員については、会費 30,000 円を納入した場合に限り、終身会員とする。	満 70 歳以上の会員については、会費 20,000 円を納入した場合に限り、終身会員とする。
2	満 70 歳以上の会員については、会費 10,000 円を納入した場合に限り、終身会員とする。	2（削除）

議案第 3 号 平成 29 年度収支予算				報告第 2 号 平成 28 年度収支決算			
収入合計 491,000 円				収入合計 516,467 円			
支出合計 491,000 円				支出合計 516,467 円			
差引残額 0 円				差引残額 0 円			
1. 収入				1. 収入			
科目	28 年度 決算額(A)	29 年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	科目	28 年度 予算額(A)	28 年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)
前期繰越金	46,467	130,556	84,089	前期繰越金	46,467	46,467	0
会費	212,000	226,000	14,000	会費	284,000	212,000	△ 72,000
寄付金	54,000	44,000	△ 10,000	寄付金	44,000	54,000	10,000
雑収入	104,000	90,444	△ 13,556	雑収入	75,533	104,000	28,467
繰入金	100,000	0	△ 100,000	繰入金	100,000	100,000	0
合計	516,467	491,000	△ 25,467	合計	550,000	516,467	△ 33,533
2. 支出				2. 支出			
科目	28 年度 決算額(A)	29 年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	科目	28 年度 予算額(A)	28 年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)
会議費	7,000	20,000	13,000	会議費	30,000	7,000	△ 23,000
事務費	33,613	30,000	△ 3,613	事務費	45,000	33,613	△ 11,387
旅費	25,520	25,000	△ 520	旅費	70,000	25,520	△ 44,480
交際費	40,000	40,000	0	交際費	35,000	40,000	5,000
事業費	279,778	280,000	222	事業費	350,000	279,778	△ 70,222
雑費	0	10,000	10,000	雑費	10,000	0	△ 10,000
予備費	0	10,000	10,000	予備費	10,000	0	△ 10,000
繰出金	0	0	0	繰出金	0	0	0
次期繰越金	130,556	76,000	△ 54,556	次期繰越金	0	130,556	130,556
合計	516,467	491,000	△ 25,467	合計	550,000	516,467	△ 33,533

報告第 3 号  
平成 28 年度基金会計収支決算

預入先	東邦銀行 会津下郷支店
口座名義人	在京下郷会基金会計 事務局長 佐藤 壽一
利息	平成 28 年度 2 円
預金現在高	351,270 円

監査報告書

平成 29 年 9 月 28 日、在京下郷会の平成 28 年度収支決算について監査した結果、諸帳簿は整備されており、適正と認めます。

平成 29 年 10 月 28 日

監査 大竹 虎雄 (大)

監査 佐藤 ヤスノ (佐)

就任挨拶

幹事長(沼尾) 芳賀 公

明けましておめでとうございます。在京下郷会幹事長を就任するにあたりご挨拶をさせていただきます。在京下郷会(以下「会」という。)は平成三年に設立され、その間二十七年間、先輩達のたゆまぬ努力によってここまで発展、深化させていただきました。これまでのご労苦に感謝申し上げます。

このような歴史と先輩たちが築き上げた立派な「会」を運営するにあたり、次の二つを柱として考えております。その一つは、今以上に明るく、笑い声のある、楽しいうちに何事もスムーズに進んでいくような「楽しい会」にしたい。二つ目は「会員の増加」対策です。当会を今後維持し、また次へと引き継いでいくためにも、会員の増加対策は喫緊の課題と考えています。楽しくなければ人も集まりません。この楽しさと会員の増加は車の両輪と同じです。

当会はあらゆる分野で活躍している英知を結集した団体です。今、その必要性が益々求められているのではないのでしょうか。現在、少子高齢化という難しい問題が否応もなくやってきております。下郷町の将来を考えながら、振興と発展に、会として何ができるのか、何をやらなければならぬのかを念頭に置きながら、役員方のご協力を得て運営にあたって行く所

存です。宜しく願います。

退任挨拶

顧問(刈林) 中野 善次

昨年十二月二十八日開催しました在京下郷会定期総会の役員改選において会長を退任し、顧問に就任いたしました。

平成十八年十月二十七日会長に就任して以来十一年間会長の職を務めることができました。初代会長本田武男様、第二代会長渡部章二様、第三代会長尾形慎記様のお三方はお亡くなりになりましたが、素晴らしい業績を残されました。

私は第四代会長として大過なく務めました。一番印象に残る事業は、平成二十六年五月十四日下郷町大川ふるさと公園パークゴルフ場に、「シダレ桜の苗木植樹祭」を行なったことで、町民の皆様へ愛される桜になってほしいと今でも念願しております。

このたびの役員改選は、若手の登用を中心にいたしました。室井会長を筆頭に役員一同一丸となり在京会発展にご尽力していただきたいと思います。私は顧問の立場から微力ながら協力したいと思っております。

交流パーティーの席上、室井会長から「多年にわたり在京下郷会の会長として諸活動を積極的に推進し、その発展に貢献をされた」との事由で感謝状と記念品をいただきました。誠に光栄に存じます。

室井会長の卓越した手腕により在京下郷会発展に寄与されることを期待いたします。最後に在京下郷会及び下郷町のますますの発展を祈念するとともに、今後とも相変わりませぬご厚情とご鞭撻をお願いし退任のご挨拶といたします。

在京下郷会前顧問

尾形慎記様を偲んで

顧問(刈林) 中野 善次

謹んでご霊前にお別れのことばを申し上げます。

昨年三月十七日十六時二十分頃尾形さんの奥様から訃報のお電話をいただきました。驚きと悲しみでいっぱいでありました。ご自宅療養中でありましたが、必ずや快復され、お元気なお姿で再会できる

ものと信じておりましたのに、それができなくなり本当に残念でたまりません。

在京下郷会は、平成三年十一月九日に設立され、下郷町中妻の集落を代表し役員にご就任され今日までの二十五年余の長きにわたり、会長及び顧問の要職を就任されました。いつも寛大に謙虚に私たち後輩にご指導下さいました。

景気の悪いときに上京され幾多の困難にもめげずその時代を歩んでこられたお姿には敬服いたします。その人格に育まれた友人知人は数多くおられると存じます。

ここに謹んでご霊前に哀悼のまことを捧げ、あわせて数々のご尽力に衷心より敬意と感謝を表しましてお別れのことばといたします。安らかに眠りください。さようなら。

合掌



**第三十八回「在京下郷会  
春の親睦ハイキング」**

担当幹事代行

副幹事長(新開) 星 洋武

日時：平成二十九年四月一日(土)  
場所：里見公園・じゅん菜池(市川市)  
集合場所：JR金町駅前  
天候：曇り、体感温度：寒い

参加者二十名で駅から京成バスに乗り、十分位走り、国立病院前で下車した。五位歩いて歴史ある「里見公園」に着いた。桜は少しは咲いていて祭りの関係者が準備をしていた。

天候も悪く、二ヶ所のテーブルを利用して昼食会が始まった(予定では次の「じゅん菜」池でした)。途中から小雨が降ってきて傘をさしてのビールはさすがに寒くて熱燗の気分だった。

それでも女性陣の手作りの料理を御馳走になりながら、飲んで、話して、楽しく過ごし、早めに切り上げ、駅で合流することとし、「じゅん菜池」と「寺社めぐり」に分かれて行動した。

池の方では一ヶ所桜がきれいに咲いている所があり、この下での昼食会の方がよかったと思った。とても落ち着く公園で、里見公園とどちらも素晴らしい所で、一度は訪れて欲しい所です。

**親睦ハイキングに参加して**

会計(三ツ井) 羽染 作太

四月一日(土)JR市川駅に集合し、ここから里見公園までは路線バスを利用する(国府台病院下車)。私にとってはとつ

ても懐かしい思い出のある路線である(JR市川〜JR松戸)。

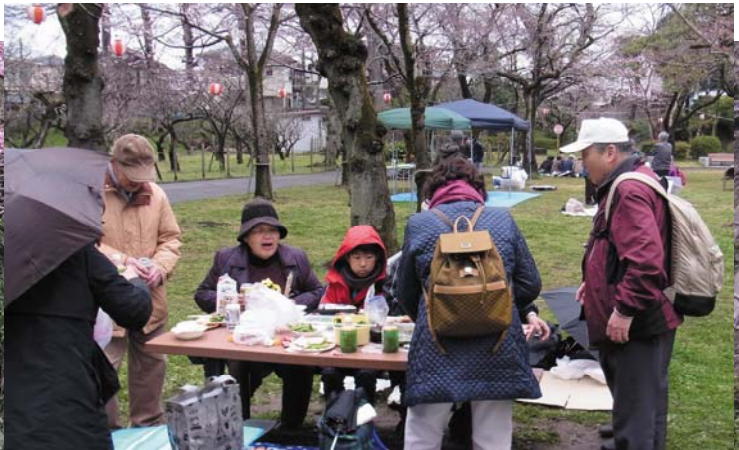
一九六七年四月(昭和四十二年)京成電鉄に入社して配属された松戸営業所の路線である。社会人として生活を始めたところで当時は路線バスに車掌さんがいた。女子車掌を廃止して現在のようにワンマン化するために男子車掌が採用された時代に、この路線を中心に約二年六か月バスの車掌を経験することになる。バスから降り三分咲きの桜並木を散策しながら五分も進むと公園に着く。下総台地の西端に位置し古くは下総国府が置かれた場所、古戦場跡でもある。

左側は軍隊の宿舎跡を整備してバラ園になっている。先に進むと江戸川を見下ろすことができ、天候が良ければ富士山も見えるところですが残念。

右側の広場で休憩、懇談会を始めると、心配された雨は上がったが、花冷えで足元が悪くシートが敷けない。しかし備え付けのテーブルを囲み、田舎言葉の飛びかう食事は味がある。用意した日本酒よりも、茶店の熱燗のお酒が好評でした(ご馳走様)。それでもビールは売りましたよ。

予定より早く切り上げ、次の場所へ移動する。予定通りに「じゅん菜池緑地公園」に行くグループ、私たちは真間山弘法寺の枝垂れ桜を見ることにする。

千葉商科大学構内を若いころの気分で散策しながら弘法寺へ、ソメイヨシノより開花が早いので老木ですがみる価値は十分ありました(推定樹齢四百年)。ここから万葉集にも出てくる手児奈などを見学しながら、俳句の掲出・募集箱のある南大門通りを散策、和菓子店で大福もちを購入、食べながらJR市川駅まで頑張りました。お疲れさまでした。



平成 29 年 春の親睦ハイキング-里見公園とじゅん菜池緑地公園-

第三十九回「在京下郷会 秋の親睦ハイキング」

担当幹事代行

会計(三ツ井) 羽染 作太

日時：平成二十九年十月七日(土)

場所：都電荒川線めぐり(豊島区・荒川区)

集合場所：JR大塚駅北口

出席者：二十一名

天候：曇り、体感温度：やや寒い

十月七日(土)心配された雨も上がりJR大塚駅改札付近の通路に十時三十分の集合。打ち合わせをして一日乗車券を購入しようとしたら、窓口が閉まっておりました(お休み)。平日の下見ではそこまでは気が付きませんでした。車内で購入すると大勢で大変なので、荒川営業所の職員に乗車券を持つてくるように手配していただく。

約三十七分の車窓からは、飛鳥山付近では、公園の桜が綺麗なところや「紙の博物館・飛鳥山博物館・渋沢史料館」もあり、「一度は見学の価値がありますよ」など、会話しながらの車窓観光。車内は空いてきたかと思うとまた混雑する(蒸し暑い)。

荒川二丁目下車し荒川自然公園に向かう。この公園は三河島下水処理場の上に人口地盤を造り約五、七ヘクタールの敷地に樹木、交通公園、運動施設などがあり順路に従って散策する。とところどころにクイズがあり頭を悩ま

す。バラが綺麗に咲いており、さらに進むと通路の上から箱型に仕切られた処理場を見渡せる。ここで綺麗になった水が東京湾に放流される。ここでは約四十分の滞在。

再び都電に乗り荒川車庫前下車して古い都電を見学すると「私、この電車に乗ったことがある」などの会話が飛び交う。運転席に座り運転士の気分を味わう人。ここから荒川遊園地まで散策、入場料は都電一日乗車券で入れる。

ここで昼食、コンビニで仕入れたビール、酒を飲み交わし、下郷弁の会話で盛り上がる。持ち寄ったおかずがまた美味しいのです。話が盛り上がり予定の九十分がオーバーしての会食となる。

十五時二十一分に大塚駅前に戻り、反省会を開き十五時四十分解散となり恒例の二次会に足が向く。

◆一口メモ

- ・線路の幅(軌間)は2本間の狭いところを基準としています。
- ・標準軌(一四三三ミリメートル)は新幹線、京浜急行、都営浅草線、京成
- ・狭軌(一三三七ミリメートル)は都電荒川線、都営新宿線、京王
- ・狭軌(一〇六七ミリメートル)はJR在来線、東武、東急線等国内最多

今年からハイキング担当になりました。まだ経験が浅いので皆様のご協力を頂き、楽しいハイキングにしていきたいと思えます。

秋の親睦ハイキング-荒川自然公園・バラ園-



運転席の工藤幸之助君(連続4回参加)



秋の親睦ハイキング 荒川自然公園・入口



店舗・住宅家具一式・設計・施工



ユンケル工芸株式会社

代表 佐藤順昭

本社 121-0815 東京都足立区島根2-32-21-502

TEL・FAX : 03-3850-1354

工場 382-0123 栃木県栃木市川原田町1041-2

TEL:0282-24-4831 FAX:0282-24-4830

会津営業所

969-5204 南会津郡下郷町弥五島字中の内365

TEL:0241-67-2362

# ホテルニュー魚眠荘



下郷産地粉を使って

故里の味を伝えています

〒111-0034

東京都台東区雷門2-20-4

Tel 03-3844-5117

Fax 03-3841-6566

E-mail:info@gyominso.jp



在京下郷会  
副会長 芳賀 勝義  
(沼尾)



在京下郷会  
副会長 高橋千代丸  
(刈林)



在京下郷会  
副幹事長 櫻木 博  
(落合)



在京下郷会  
副幹事長 大竹 力夫  
(落合)



やま桜らと  
清流の郷  
在京下郷会  
副幹事長 星 洋武  
(新開)



在京下郷会  
副幹事長 小山 博義  
(塩生)



在京下郷会  
監査 大竹 虎雄  
(三ツ井)



在京下郷会  
監査 佐藤 やすの  
(楢原)



在京下郷会  
監査 芳賀 清喜  
(沼尾)



在京下郷会  
会計 前田 恵子  
(倉水)



在京下郷会  
会計 羽染 作太  
(三ツ井)



在京下郷会  
幹事 佐藤 隆志  
(大内)



# 会員サロン



## 町の活性は健康から

会員（倉水） 猪股 万治

皆さん、お元気ですか。元気の源は健康でなければ生まれません。病は気からと申しまして、気力がなくなれば自分から病気に侵されてしまいます。働くという字は人が動いて初めて、仕事に充実した生活を送って、幸福な家庭を過ごせるのです。

若い頃は多少無理な仕事や行動をしても、一晚熟睡すれば直ちに解放されたものですが、年齢と共に疲労が蓄積され、五十代半ばから病気が忍び寄り、大変なことになってしまふのです。勤め人をはじめ、多くの方々は気力が満ちた仕事をしている為に、気付かずに過ごしているのが現状です。定年退職等で、家に閉じこめると一気に病気に侵され、入院する様な事が、多々見受けられますので注意が必要です。

健康を維持するために、自分から率先して、イベントやスポーツに参加してみませんか。多数の人々と語り合い、励まし合い、助け合うことが元気を頂き、健康で豊かな生活が送れるものと確信します。健康に優るものはないと思います。健康の有難さを身に感じ、皆さん、いっしょに喜びを分かち合おうではありませんか。

町全体が、元気で明るく健康であれば成長は間違いありません。一人一人の心がけが町の活性化に寄与するのです。一日一年でも長生きして皆さんで健康について今一度考えては如何でしょうか。下郷町の前途が楽しく開かれるよう、願っております。

## 故郷への想い

副会長（十文字） 室井初男

ゆく秋の背中を見送るように冷たい北風が吹き始めますと、決まって空き家となつている実家の冬支度に足を運びます。閉された家の敷居を跨ぐと、まるで父と母が一日千秋の思いで私の帰りを心待ちにしていたかのような幻想にとらわれます。作業の合間に「親の愛情」抜きでは語れない故郷に於ける己の「来し方」に思いを馳せておきますと、語り聞かされた幼いころのいくつかの出来事が脳裏に蘇ります。

昭和二十四年、開拓の十文字に私は生まれました。誰もが敗戦のどん底から這い上がろうと、必死の思いで生き延びた時代であつたと思ひますが、中でも開拓でのそれは想像を絶するほどの厳しさであつたそうです。耕す機械も十分な食料も水もなく、荒れ果てた雑木林に分け入り、人力で一本一本の木々を伐採、木の根や大きな石を掘り起しながらの開墾は言葉では言い表すことが出来ないほど辛く、苦しい作業であつたそうです。

そんな中で私は親の計り知れない愛情を受けて育てられました。三歳の頃ですが、開拓の作業に専念のため、母は反対したのですが、私は田頭の祖父母宅に預けられそうになりました。その日、私は父の背中をいつもと違う雰囲気を感じ、この道を戻れば家へ帰れることを断片的に記憶に留めておりました。二日後、寂しさに耐えきれず「十文字へ帰ろう」と思つた私は、熊笹が生い茂る山をひとり越えようとし、道に迷い泣きながら助けを求めていたところを保護されました。手足には擦り傷のほか栗の棘が無数に突き刺さり痛々しく見るも無残であつたそうです。母は私を連れ戻り、祖父母宅に預けようとしたことを悔やみ「開墾がどんなに大変であつても手許で育てよう」と心に誓つたそうです。

その後、四歳の頃、食料難から重度の栄養失調となり、今にも頭部が二つに割れそうな程で歩くことさえもおぼつかず「この子は生き延びられるだろうか」と思われたとき、母は「何とか助かつて欲しい」と限られた乏しい食料から栄養のあるものを食べさせてくれた結果、一命を取りとめました。

そして、六歳頃の寒い冬の夜でした。母が用意してくれた豆炭行火に顔を埋めて寝てしまい、一酸化炭素中毒となり生死を彷徨いました。夜中の葉たばこの出荷作業中、私の姿が見えないことから布団をはいだところ、顔と体の一部が紫色に変色して、息も絶え絶えのところを救出されました。気が付いたとき、心配そうに覗き込む父と母の顔だけが徐々にはつき

りと見えてきたのを思い出します。

長男である私に農家を継がせずに送り出してくれたのも、「自分たちと同じ苦労をして欲しくない」との親心からでした。母は、私が出発する前日の夜から好物の汁餅や納豆餅を作る準備をしながら、生まれた日からの数々の出来事を思い出していたに違いありません。その日、滅多に涙を見せない母がそっと目頭を押さえたのを鮮明に思い出します。父も下を向いたまま顔をあげませんでした。

時々、夢に出てくるのは、力強く畑を耕す父の姿、見つからなかったボールを探してくれた若かつたころの母の笑顔、そして田頭から十文字へ帰ろうとした「何故か今でも迷つてしまふあの薄暗い笹藪」であります。

永い眠りにつく前に親不孝を詫びる手紙を書けなかつたことは悔やんでも悔やみきれませんが、親の深い愛情を誰よりも多く受けることが出来たことへの感謝の思いは決して忘れてはならないと肝に銘じております。

親の子や孫に対する愛情は海よりも深く、山よりも高く、その深さははかり知ることができず、その高さは仰ぎ見ることさえできないと申しますが、今まさに古希を目前にして、子や孫に囲まれておりますとその深さ、高さを僅かながら実感出来るようになりました。一方で心無い親が、掛替えない幼子の尊い命と生きる権利を奪う報道に接するたびに亡くなったその幼子は「親の愛情」をどれほどの思いで待ち焦がれていたであろうかと胸が張り裂ける思いであります。

最後になりましたが、今でも厳しい生活環境下の十文字で見事に成功され、故郷の発展に尽力されておられる同世代の馬場さん、佐野さん、阿久津さんをはじめ皆様の生活力、行動力、実行力には心からの敬意を表したいと思います。不得要領な拙い文章を最後までご高覧賜りまして、恥ずかしい限りでございます。ありがとうございます。

末筆でございますが、故郷下郷町の益々の発展と町民の皆様のご活躍とご健康、ご多幸を切に願い筆を措きます。

**下郷町農業祭・文化祭  
に参加して**

副会長 (刈林) 高橋 千代丸

十一月三日、早めの雪囲いに帰省したついでに、久しぶりに「下郷町農業祭・文化祭」を見学した。寒波到来で気温は低かったが抜ける様な快晴に恵まれ、十時かつきり星學町長の力強い挨拶で会はスタートした。十五年前前に参加した時には、郷人よさこいと大川溪流太鼓や老人クラブの素晴らしいアトラクションが印象として残っていたが、その後の高齢化の進行と若年層の減少が会の活性化にどのような影響を与えているかに関心があった。結論から言うと、会はそのような危惧を微塵も感じさせない素晴らしいもので、下郷町民の元気さ、一体感、アトラクションのレベルの高さに感動した。特に、少なくなつた人数の中で、大勢の小学生、中学生、高校生、社会人の方々が、レベルの向上を目指して、寸暇を惜しんで練習に励

んだ成果は観客を魅了するに十分なレベルであった。

内容は大川溪流太鼓、老人クラブ女性の民謡、よさこい郷人、下郷中学生の合唱、檜原小学校六年生の檜の葉ソーラン、老人クラブのここにゴダンス・フラダンス、在京下郷の集いでお馴染みの馬場誠三リサイタルなどでした。これらのアトラクションに一層の花を咲かせたのが、司会の星博子さん(湯野上温泉民宿「沼袋」の女将さん)のプロ級のイベント進行リリーダーストップで、演出者と観客が一体となつた素晴らしい盛り上がりでした。

一方、在京下郷会と町は在京下郷の集いの「ふるさと懇話会」で、少子高齢化社会における町の活性化をどうするか議論を進めておりますが、この文化祭を見る限り、下郷町はまだまだ十分な活力を持つてゐることを実感しました。老若男女、行政・産業・学校が一丸となつて頑張つてゐる、文化レベルの高い下郷町に熱いエールを送り続けたいと思います。



一段とレベルが向上した大川溪流太鼓

**役員に就任して**

幹事 (刈林) 星 善徳

昨年の定期総会で幹事を拝命いたしました刈林出身の星善徳です。私は大学進学で下郷を離れ、卒業後は外資系のコンピュータ企業に就職いたしました。三十数年勤務し、現在は札幌のソフトウェア開発企業の東京支店に勤務しております。

予てから下郷のためにお役に立てればと思つておりましたが高校同期の佐藤学君に誘われ、いい機会だと思ひ参加を決めました。今後、先輩各位のご指導を仰いで微力を尽くしてまいります。

実は十三年前から毎年、東京の少年野球クラブの小中学生六十〜七十名ほどを引率して下郷で夏合宿を実施しております。

当時の下郷中の生田先生のご厚意で交流試合を組んでいただき、同級生や幼友達の暖かい協力もあり継続することができました。近年は役場や町の野球協会のお力添えで南会津地区や近隣の中学校との大会を開催していただくまでになり、感謝に堪えません。

その過程で下郷町の強みを認識することになりました。一つはスポーツ合宿地として最適な環境であるということです。夏場の冷涼な気候、立派な野球場があり、また小学生には十分な広さの小学校や分校、中学生には下郷中や旭田小の校庭、宿泊には湯野上温泉と条件は揃つております。

それ以外にもトレッキングに最適な那須連山、大峠から三倉山を経由して塩原

に続く稜線は登山経験豊富な兄によると関東周辺では類のない素晴らしい縦走コースだそうです。駐車場とキャンプ場、トイレが整備されれば絶好の登山・トレッキング環境が整います。このような強力な環境要素を持った下郷町の発展に、少しでもお役に立ちたいと思つております。ご指導とご支援、よろしくお願いいたします。



下郷町で夏合宿をする東京の少年野球クラブ

**頭の体操でボケ防止**

幹事 (大内) 佐藤 隆志

これまで自分は、一年で一番早く日が沈む日は冬至と思つていました。ところが、「日の沈む日が一番早い日は十一月二十九日から十二月十二日迄の十四日間なのです」という話を聞きました。そこでどういう訳か知りたいたと思つて気象庁データをもとに調べてみました。データの利用方法が煩雑・難解でうまく整理できませんでした。大雑把に表のようにまと

めてみました。表から言えることは、福島の場合、日の沈む日が一番早い日は十一月二十九日から十二月十二日迄の十四日間で、十二月十三日からは日の沈むのが遅くなり、日が伸びて行く。冬至は二十二日で四分ほど伸び、大晦日では十分伸びる。

ここで考えてみよう。一年三百六十五日のうち、伸びる日と詰まる日は半分ずつかと思いきや違うのです。伸びる日は十二月十三日から二十四日かけて伸びきる。一方、日が詰まる日は、七月五日から百四十七日で詰まってしまふ。それを一日当たり伸びる時間ということで、日の入りだけで計算すると、一日、四十五秒ずつ伸びる。詰まる日を計算すると、一日、一分二秒半の速さで詰まるのです。そこで、これらの知見をもとに、一年の生活リズムに季節や気温などを加味して考えたと楽しいものです。自分は加齢に伴うボケ防止のためにこのような頭の体操に取組んでおります。

東京の場合	日の出	日の入り	福島の場合	日の出	日の入り
11月29日	6.30	16.28	11月29日	6.32	16.20
12月12日	6.41	16.28	12月12日	6.44	16.20
12月13日	6.42	16.29	12月13日	6.36	16.19
12月22日	6.47	16.32	12月22日	6.50	16.23
冬至			冬至		
12月31日	6.50	16.38	2月31日	6.53	16.29
大晦日			大晦日		
1月31日	6.42	17.07	1月31日	6.43	17.00
2月3日	6.40	17.10	2月3日	6.41	17.03
節分			節分		
4月7日	5.20	18.07	4月7日	5.15	18.06
バレンタイン					
6月24日	4.26	19.01	6月22日	4.17	19.04
7月4日	4.30	19.01	7月4日	4.17	19.04
			7月5日	4.22	19.03

**役員に就任して**

監 査 (沼尾) 芳賀清喜

この度「監査」を仰せつかりました芳賀と申します。在京下郷会に入会してまだ日も浅いので、馴染みのない方もいらっしゃると思いますがよろしくお願いいたします。

若干自己紹介致しますと、下郷町の北はずれ(会津若松市との境)にありますが沼尾の出身です。昭和四十八年に高校を卒業して上京以来、すっかり関東に定着しております。仕事はずっと行政と税に関わっております。現役は引退しましたが現在も税理士として税の仕事をしております。

若い頃は故郷と疎遠な時期もありましたが、ここ数年は月に一〜二回程度は沼尾に帰っております。四季折々の故郷の風景と匂いを堪能しております。仕事の関係で北海道や沖縄に住んだこともありますが、やはり故郷がいいなあと思うようになったのは年をとったからでしょうか。



税法の講師として講演する筆者

と申しましたが、在京下郷会では最若手の一人です。これまでの経験と在京下郷会の仕事を通じて、故郷下郷町のためになることが出来ればよいなど考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

**まるごと南会津 観光PRフェアに参加して**

顧問 (刈林) 中野善次

昨年十一月十八日上野恩賜公園で開催された「まるごと南会津観光PRフェア」に、在京下郷会から、高橋千代丸副会長、長沼裕臣顧問、前田恵子会計、佐藤隆志幹事と奥様、中野善次顧問の七名が参加しました。

会津の各町村長が集まり歓迎ムードがいつぱいであり、最初に大宅宗吉南会津町長のご挨拶に引き続き、星學町長のご挨拶があり、下郷町のイベント並びにPRをされました。

- ① 大内宿雪まつり  
二月十日(土)〜十一日(日) 大内宿
- ② なかやま雪月火  
二月十六日(金)〜十七日(土)  
なかやま花の郷公園
- ③ 湯野上温泉 火祭り  
二月二十四日(土) 湯野上温泉駅

公園内に設置されたゲートを入ると、目の前に湯野上温泉の「足湯」のサービスがあり「中野さん入りませんか・・・」と声をかけていただきました。私は、左足首を治療中で残念ながら遠慮せざるを得ま

せんでした。

会場の両側には各町村の物産が出品され、それぞれのPRに一生懸命で大いに盛り上がりを見せていました。この観光PRフェアには、十八、十九の二日間約四万人の入場者があったようです。

下郷町の目玉商品は他の町村とくらべるとこれといった物がなく、他の所がうらやましく思いました。今後は十分検討され出品されるようお願いしたいと思います。

私たち参加者七名は午後二時半頃会場を後にし、「西郷隆盛銅像」の下にあるレストラン「ライオン」で今日の反省会と参加者の友好を深め上野を後にしました。

**編集だより**

編集委員長  
副会長 (刈林) 高橋千代丸

昨年十月二十六日に行われた「ふるさと懇談会」では、会員の高齢化が進む在京下郷会と少子高齢化が進むふるさと下郷町が一緒になり、この厳しい社会環境の変化に対応するにはどうすればいいのかを話し合った。

在京会からは「今後の下郷町の年齢別人口の推移」が、町からは「下郷町着地型ツーリズム推進事業」が説明され、忌憚のない活発な意見が交換された。内容・成果は本文の「ふるさと懇談会」に掲載されているのでご参照下さい。

一方、ご承知のように、在京下郷会の事

